

2021 年度 横浜市国際学生会館 報告書

ANNUAL REPORT 2021

YOKOHAMA INTERNATIONAL STUDENT HOUSE



2021. 10. 11 留学生による出前授業



2021. 10. 19 グローバル人材の育成事業



目 次

第1章	2021年度 学生会館の主な取組	1
第2章	事務事業体系図	3
第3章	会館の概要	4
第4章	総務関係	
1	宿泊施設の提供	5
2	危機管理	7
第5章	自主事業関係	
1	国際理解事業	8
2	地域貢献事業	11
3	留学生支援事業	12
4	行政施策への協力	14
5	広報事業	15
第6章	イベントカレンダー	16
第7章	2021年度 予算決算書	21
第8章	留学生統計	22

第1章 2021年度学生会館の主な取組

2020年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大への対応に追われた一年でした。留学生が帰国や卒業で退館し空室が生じたことから、2次・3次募集を実施し、入居者の確保に尽力しました。運営にあたっては、手指の消毒と入館時の検温を徹底し、感染防止に努めました。

事業においては、対面での開催が困難な中でも、さまざまな場面でオンラインによる工夫を実践しました。新入居者歓迎会や退官者送別会、出前授業の一部、東京2020大会を記念した留学生との交流会、会話サロン、グループ英会話、YRA ミーティングなどをオンラインでも開催しました。

潮田交流プラザ秋まつりや恒例の地域行事などは中止となりましたが、つるみ臨海フェスティバル（潮田仲通公園）で留学生が母国のお茶とお菓子を提供したり、鶴見小野町でのアートイベントにも留学生が協力したりするなど、身近な地域行事に参加しました。

潮田交流プラザ内の設備の計画的な更新や緊急的な修繕に対応するとともに、大学等のオンライン授業により、アクセスが集中してつながりにくい状況になっていたWi-Fiに変えて、有線LANを導入する工事を実施しました。すべての居室と共用の研修室などに安定したインターネット環境を提供できるようになりました。

1 総務関係

(1) 入退館業務

依然、新型コロナウイルスの影響で入国審査が厳しく、ほぼ入国ができない状況のため、日本在住留学生の募集としました。2021年度も家族室が10室の内3室が空く状態となりましたが、单身室は満室となりました。

入国が厳しい状況の中、研究室の利用希望者は、入国緩和のわずかな期間に入国できました。来日日程の変更に次ぐ変更と、外部での隔離期間等の調整、陰性証明等を経て入居がありました。一方、12月の入国直前に入国禁止となり、母国へ戻らなくてはならなくなることもありました。そのため、2021年度当初は入居が0室だった研究者室は、年度の後半には3室入居を受け入れることができました。

(2) 建物設備の維持管理

学生会館屋上に設置している居室給湯設備(HEATS)熱源機の更新工事が行われました。設立当初から使用してきた設備の更新により、安心して給湯設備を利用することができます。また、潮田交流プラザ共用部分の地下2階の空調自動制御機器流量計等の更新や、4階に設置の空調機の冷媒漏れの修理など、経年劣化による故障に対応する工事を実施しました。

所管の教育委員会事務局では、故障や機能低下の目立つ居室のエアコン及び冷蔵庫の更新3か年計画の2年目で、各40台ずつが更新されました。

また、約15年間使用していたベッドマットレスの全室分の交換を実施しました。同時に、開設当初より使用していた臨時宿泊室の2段ベッドの交換も行いました。経年により、不点灯や照度不足となっていた非常照明器具の交換や外部非常階段等の補修など、非常時の安全性向上のための修繕も実施しました。

(3) 危機管理対策

5月に予定していた避難訓練は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、8月に延期して小規模で実施しました。1月には、職員のみで避難経路や災害用備品の確認を行いました。また、災害発生時に安否確認が速やかにできるよう、メールの送受信訓練を6月と2月の2回実施しました。

2 自主事業関係

(1) 国際理解事業

コロナ禍にあっても感染防止対策を講じつつ、またオンラインも最大限活用しながら事業を進めました。出前事業は、2020年度は5校14クラスの出講にとどまりましたが、2021年度はオンラインも多用して、18校62クラスとコロナ前の水準に戻るまでになり、児童生徒の国際理解・国際交流を促進することができました。また、横浜サイエンスフロンティア高校でのポスター発表会への留学生派遣を通じた英語での交流なども拡大し、グローバル人材育成の取組も活発な動きがみられました。

2020年度から始めたオンラインによる語学講座も好評で、季節ごとに開催しました。英会話の他にネパール語、ベトナム語、アラビア語、シンハラ語など、学生会館ならではの講座を提供することができました。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせ、母国の文化を紹介するオンライン交流会も開催し、ミャンマー、メキシコ、カメルーン、モンゴル、マレーシア出身の留学生が登場しました。一方で、ホームビジットは感染拡大防止のため今年も中止としました。

(2) 地域貢献事業

潮田交流プラザ秋まつりや潮田神社祭礼は中止となりましたが、つるみ臨海フェスティバル(潮田西部会場)に初めて参加しました。インドネシア、ベトナム、中国出身の留学生が、母国のお茶とお菓子を提供しながら、来場した市民の皆さんと交流しました。

また、鶴見小野町でのアートイベントにも留学生が協力し地域の活性化に貢献しました。小学校で外国人児童の学校生活をサポートする母語ボランティアとして、4名の留学生が活動し、地域の多文化共生にも参画しました。

(3) 留学生支援事業

コロナ禍でアルバイトもままならない留学生の生活支援の一環で、鶴見区と友好交流都市の一つである福島県西会津町の有志からお米や野菜が2回にわたって寄付されました。他にも、企業の寄付プラットフォームを運営する(株)Stock Baseの協力を得て、災害用備蓄品の有効活用でアルファ米や缶詰を、また、日中友好会館からも生活支援物資の提供を受けました。

留学生の就職支援はコロナ禍で就活の状況が変化している中、さまざまなサポートを行いました。通年で実施している就活個別相談会は回数を減らしましたが、オンラインも活用しながら開催しました。また、専門学校生を対象に、エントリーシートの書き方や就職活動の始め方についてのセミナー、さらに社会人となった元留学生を講師に招いた就職相談会も開催しました。

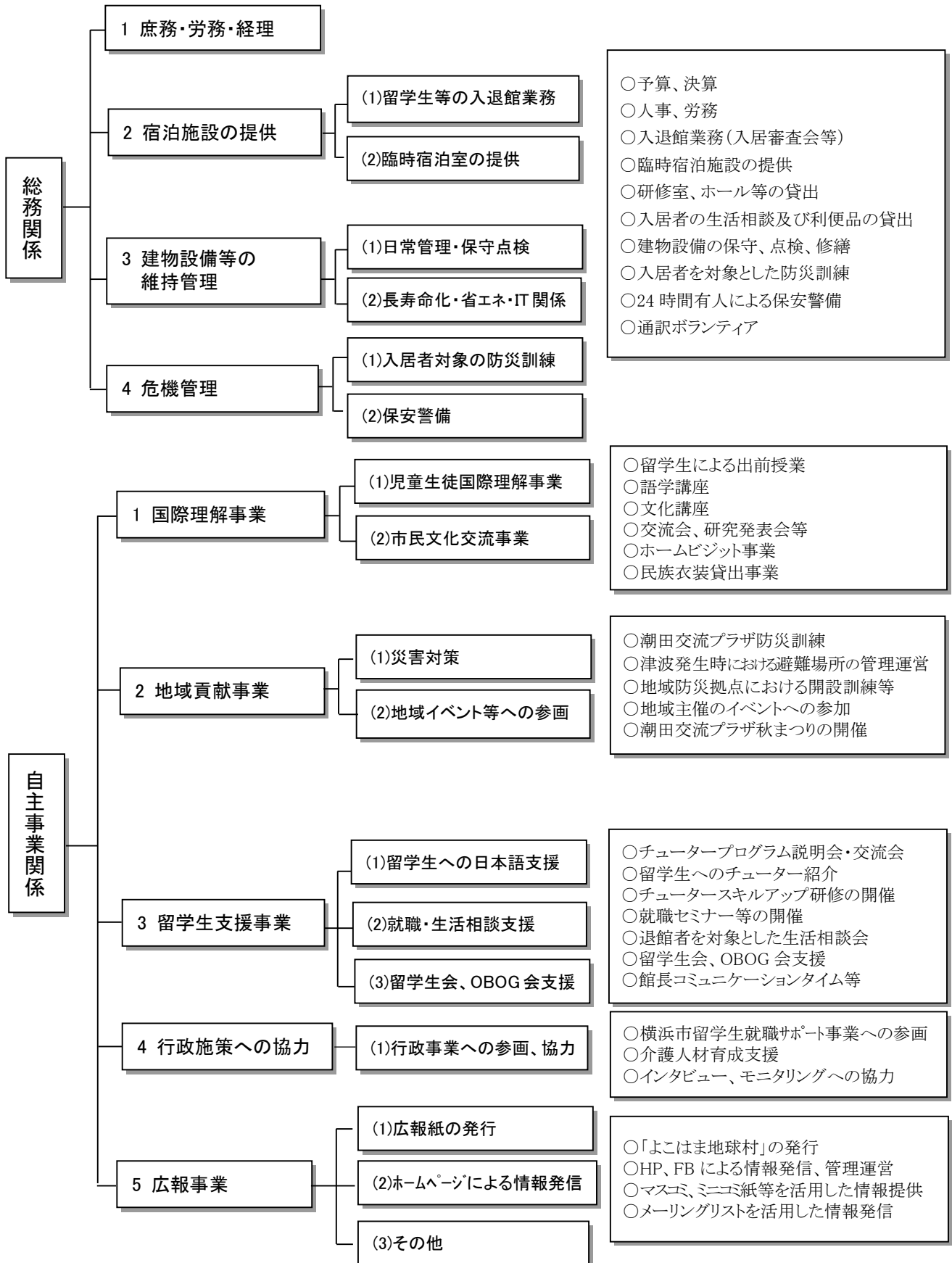
(4) 行政施策への参画・協力

12月に県議会議員や汐入小学校教員の訪問を受けたほか、元街小学校(中区)や下野谷小学校(鶴見区)で、外国人児童の母語ボランティアとして留学生が協力しました。また、YOKEの日本語学習支援事業と連携し、YOKEオンラインおしゃべり交流会「ほっとたいむNIHONGOではなそう！」(11月)に留学生7名が参加しました。

(5) 広報事業

季刊紙『よこはま地球村』、ホームページ、行政の広報紙、地域情報紙を活用して情報を発信しました。また、コロナ禍における留学生活の実情を伝えるために『留学生レポート2021』を発行しました。

第2章 事務事業体系図



第4章 総務関係

1 宿泊施設の提供

(1) 留学生の入退館業務

2021年4月の入居者は、21か国・地域の80人（留学生70人、レジデントアシスタント（RA）10人、研究者0人）でした。単身室の申請者数は39室（留学生35室、RA4室）、家族室の申請者数は1室でした。横浜市立大学の交換留学生の優先枠は25室でした。

家族室の子どもを含む入居者の総数は、4月1日時点で92人でした。内訳は、大学院生47人、学部生24人、専門学校生9人、研究者0人で、大学院生が過半数を占めました。学校別では多い順に、横浜国立大学36人（45%）、横浜市立大学14人（17%）、東京藝術大学大学院6人（7%）でした。

【2021年度入居状況 2021年4月1日現在】

1 校種別

（ ）の数値は、RAの人数

学校別	留学生・RA			研究者	合計
	単身室	家族室	小計		
1 大学院	40 (2)	7	47 (2)		47 (2)
2 大学	24 (8)		24 (8)		24 (8)
3 専門学校	9		9		9
4 研究機関			0		0
計	73 (10)	7	80 (10)	0	80 (10)

2 出身国・地域別

（ ）の数値は、RAの人数

国・地域	留学生・RA			研究者	合計
	単身室	家族室	小計		
1 中国	30 (1)	2	30 (1)		32 (10)
2 ネパール	8		8		8
3 韓国	7		7		7
4 インドネシア	3	1	4		4
5 ベトナム	3	1	4		4
6 ナイジェリア	2		2		2
7 イラン	1		1		1
8 インド	1		1		1
9 エジプト	1		1		1
10 エチオピア	1		1		1
11 カメルーン		1	1		1
12 スリランカ	1		1		1
13 タンザニア	1		1		1
14 バングラデシュ		1	1		1
15 マレーシア	1		1		1
16 南スーダン		1	1		1
17 ミャンマー	1		1		1
18 メキシコ	1		1		1
19 モンゴル	1		1		1
20 ルワンダ	1		1		1
21 日本	9 (9)		1		1
計	73 (10)	7	77 (10)	0	80 (10)

3 学校別

() の数値は、RA の人数

		留学生・RA									研究者	合計
		単身室			家族室			小計				
		院	学部	専門	院	学部	専門	院	学部	専門		
国立	横浜国立大学	26(1)	3		7			33(1)	3			36(1)
	東京藝大大学院	6						6	0			6
公立	横浜市立大学	5(1)	9(3)					5(1)	9(3)			14(4)
私立	慶應義塾大学	1	4(2)					1	4(2)			5(2)
	神奈川大学	1	2(1)					1	2(1)			3(1)
	関東学院大学	1	2					1	2			3
	東京都市大学		2					0	2			2
	フェリス学院大学		1(1)					0	1(1)			1(1)
	横浜商科大学		1(1)					0	1(1)			1(1)
専門学校	グレッグ外語専門学校			3				0	0	3		3
	岩谷学園専門学校			2				0	0	2		2
	横浜YMCA学院			2				0	0	2		2
	横浜ファッションデザイン			2				0	0	2		2
計		40(2)	24(8)	9	7	0	0	47(2)	24(8)	9	0	80(10)

(2) 満足度調査

退館者及び延長者に対し無記名での満足度調査を行い（集計数 75）、結果は全てにおいて高評価でした。2021 年度は、オンライン授業が本格化したため、不安定な Wi-Fi から有線のインターネットへと移行し、安定したインターネット環境を作りました。また、サーモカメラやペダル式消毒液を設置し、新型コロナウイルス蔓延防止に努めました。

- ・住み心地： 95.2%
- ・スタッフ対応： 97.6%
- ・安心・安全： 98.9%
- ・施設設備： 98.8%

(3) 臨時宿泊室の提供

会館には、入居者の親族や友人、OBOG が来たときに利用できる臨時宿泊室が 5 部屋用意されています。新型コロナウイルスの影響を受けた 2021 年度の稼働率は 7%（127 泊）で、前年度比 8% 増でした。

2 危機管理

(1) 消防避難訓練

5月に予定していた潮田交流プラザ消防訓練は、コロナ禍により延期となりました。そこで、8月にレジデントアシスタントと潮田交流プラザの職員で、消防設備、避難経路を確認し、水害対策として備蓄している土嚢の設置方法を学びました。

1月に予定していた消防訓練も、コロナ感染拡大により、職員のみでの小規模な開催となりました。避難経路の確認と、消火器等の備品の確認作業を行いました。また、同時期に「防災WEEK」と題して、学生会館入口に災害に関する展示や映像放映を実施し、防災意識の向上を促しました。



8月の訓練（レジデントアシスタントと各施設の職員が参加）



「防災WEEK」の展示

(2) 安否確認訓練

全入居者のメールアドレスを登録したメーリングリストを活用し、災害発生時の安否確認メールの送受信訓練を行いました。

- ・第1回（6月15日）返信率：83%（78返信／94送信）
- ・第2回（1月19日）返信率：79%（67返信／85送信）

(3) 通訳ボランティア制度

留学生活で最も不安なことのひとつが、病気やけがです。2021年度は、職員が英語/日本語で14件の医療関係の相談に乗りました。

夜間や休館日に日本語を話せない留学生在が体調を崩しても対応できるように、入居者による通訳ボランティア制度があります。2021年度は、夜間の緊急対応が1件ありました。

- ・通訳ボランティア登録者：10人



第5章 自主事業関係

1 国際理解事業

(1) 児童生徒国際理解事業

ア 留学生による出前授業

留学生が小・中学校へ出かけて、母国の文化（挨拶の言葉、遊び、民族衣装等）を紹介すると同時に、日本文化を児童・生徒が留学生に紹介し、相互に学び合う交流が行われました。また、中高一貫校では、留学生の出身国におけるSDGsの話題のほか、日本の大学を選んだ理由や研究テーマ、将来への展望など、生徒自身がキャリア形成について積極的に質問する姿が見られました。

《出講実績》

- ・実施期間：6月23日～2月22日
- ・参加者：児童・生徒 2042人、留学生 延べ56人
- ・出講校数：延べ18校62クラス（小学校5校、中学校5校、中高一貫校8校）
- ・先生の満足度：99%



ナイジェリアと日本の生活の比較をした授業



相互交流として日本の浴衣を着付けてもらう歓迎を受けた留学生

イ グローバル人材の育成

中高生と英語で交流するイングリッシュカンパセーションラウンジに、3か国の留学生がオンライン会議システムを使って参加しました。また、高校生の研究発表会にコメンテーターとして参加し、アドバイスをしたり、キャリアインタビューにも協力しました。

- ・実施期間：4月22日～2022年3月8日
- ・参加者：日本人学生等 延べ764人
留学生 延べ100人
- ・参加校数：中学校延べ4校、高校1校、
中高一貫校延べ4校、大学1校



インドネシアの留学生に仕事と家庭の両立についてインタビューする高校生

<p>7月11日～ 9月4日</p>	 <p style="text-align: center;">モンゴル</p>  <p style="text-align: center;">マレーシア</p>
<p>7月30日～ 9月21日</p>	<p>夏期オンライン会話サロン アラビア語・シンハラ語・スペイン語・フランス語・ベトナム語 (100%)</p>
<p>10月2日</p>	<p>留学生による文化講座 「馬頭琴の演奏とモンゴルの生活」 (100%)</p>  
<p>10月8日～ 12月4日</p>	<p>秋期オンライングループ英会話 3講座開講 金曜午後・上級・金曜夜・中級、土曜午前・上級 (100%)</p>
<p>10月24日～ 12月26日</p>	<p>秋期オンライン会話サロン 英語・スペイン語・フランス語 (100%)</p>
<p>2022年 1月21日～ 3月18日</p>	<p>冬期オンライングループ英会話 5講座開講 金曜午後・中級、金曜夜・中級、金曜夜・上級、 土曜午前・上級、土曜午後・中級 (100%)</p>
<p>2月3日～ 3月26日</p>	<p>冬期オンライン会話サロン 英語・韓国朝鮮語・スペイン語・フランス語・ベトナム語 (100%)</p>
<p>2月19日</p>	<p>寺尾地区センター共催事業 留学生による文化講座（オンライン） 「西安の留学生が語る故郷と、 描く短編アニメーション」 (70%)</p>  
<p>通 年</p>	<p>民族衣装貸し出し (4件)</p>

イ ホームビジット

2021年度は新型コロナウイルスのため、夏期、春期とも中止しました。

2 地域貢献事業

(1) 災害対策

例年春と冬に、潮田交流プラザ三施設合同で防災訓練を行っていますが、新型コロナウイルスの影響で中止しました。学生会館では、レジデントアシスタントを対象に独自の訓練を行ったほか、自治会主催の地域防災拠点開設訓練に留学生6名と、チューターボランティア1名、職員1名が参加しました。

また、防災訓練の代わりに、1月～2月にかけて、防災啓発の一つとして、留学生に対して展示や映像による防災啓発の取組を行いました。

防災訓練の詳細は、第4章総務関係2危機管理に掲載しました。



防災啓発 WEEK (1月14日～2月2日)

(2) 地域イベント等への参画/参加

潮田地区の5連合自治会と協働で開催している潮田交流プラザ秋まつりを、2021年度も新型コロナウイルスの影響で中止しました。また、例年行っている地域行事（潮田神社祭礼の神輿渡御、潮田西部地区連合盆踊り大会、潮田西部地区大運動会、本町四丁目自治会もちつき大会）や、鶴見警察署による武道始式等もすべて中止となりました。

例年、近隣地域で行われている「つるみ臨海フェスティバル」を縮小した形で、新たに潮田仲通公園において地域のイベントが開催され、学生会館も参加しました。また、小野町で開催されたアートイベント「We Trees TSURUMI」にも留学生のメッセージを届ける等、参加しました。コロナ禍でも中止するだけではなく参加できる方法を模索し、実行した一年でした。



Let's participate in the
Disaster Prevention Drill

November 21 (Sun.) 9:00-12:00
@Shioiri Elementary school

Come to
1154 3rd
floor 09:40

Why don't we get ready for Natural Disasters? Recently we have many disasters. So together, let's prepare for that.
This year, with neighbors we will check what there are in the emergency supplies storehouse, then we will know what we need in the event of disasters.
After the drill, we will get "obento", lunch box!

地域防災拠点開設訓練@汐入小学校



中国・インドネシア・ベトナムの学生達がお国自慢のお茶とお菓子を来訪者に提供しました
(つるみ臨海フェスティバル)

3 留学生支援事業

(1) 留学生への日本語支援

マンツーマンの日本語レッスンを希望する留学生に、ボランティアチューターを紹介していますが、2020年度前半は、新型コロナウイルスの影響で、新規のマッチングを控え、2020年度後半から再開し、2021年度も感染症対策をして継続しています。オンラインレッスンも取り入れ、コロナ禍で日本へ戻れない留学生向けに、オンラインならではの海外との日本語レッスンも始まりました。

また、例年行っているチューターを対象とした研修会・懇親会は中止とし、代わりに、対面とオンラインによる情報交換会を行いました。ボランティアによる自主事業を1回計画しましたが、荒天のため中止となりました。

- ・チューター登録者：59人
- ・マッチング件数：12件
- ・マッチング成立率：100%
- ・講座・交流会参加者：市民等34人、留学生1人



日本語レッスン風景

実施日	内 容
6月～12月	留学生とチューターボランティアを随時マッチング
11月12日	第1回日本語チューターボランティア 情報交換会（オンライン）
11月14日	第2回日本語チューターボランティア 情報交換会（対面）

(2) 就職・生活相談支援

留学生のための就職セミナーとして、6月に専門学校生対象の「エントリーシートの書き方」セミナーを開催しました。11月には、OBOGによる就職相談会を開催しました。このほか、国際学生会館の就職支援ボランティアが中心となり「留学生のための就職個別相談」を通年で行いました。

昨年度から引き続き、コロナ禍における入居者の生活状況を把握するため、オンラインアンケートを実施しました。多くの外部団体から、食糧や生活雑貨等が寄せられ、49回に分けて入居者に配給しました。

- ・講座参加者（2回の合計）：留学生 延べ12人、ボランティア等 延べ12人
- ・就職個別相談会（57回の合計）：留学生 延べ58人、ボランティア等 延べ57人

実施日	内 容
4月2日～ 2022年3月2日	留学生のための就職個別相談(対面/オンライン)
6月27日	外国人留学生のための就職セミナー 専門学校生対象「エントリーシートの書き方」
5月21日～31日	入居者オンラインアンケート
6月23日～6月29日 7月22日～7月30日	レジデントアシスタント (RA) アンケート
7月31日、10月7日、 11月6日、11月27日、 12月22日、 2022年1月21日、 2月11日、2月16日、 3月12日	入居者への支援物資配給   入居者へのマスク配給の 受け取りの様子
11月28日	OBOGによる就職相談会
1月21日～1月27日	年度末レジデントアシスタント (RA) アンケート

(3) 留学生会支援

月例の留学生会のミーティング (YRA ミーティング・コロナ禍の影響で、半年間はオンライン会議で実施しました。) とレジデントアシスタントのミーティング (RA ミーティング) を開き、入居者と職員との情報交換、意見交換の場としました。また、留学生会は独自に自主企画イベントを実施したほか、学生会館との共催で歓迎会・送別会を開催しました。

コロナ禍において留学生の精神的支援につなげるために、YISH CLUB と銘打ち、少人数での活動を行ったり、学生会館と RA との共催で、学生からの要望を受けた事業を企画・実施し、オンラインで配信するなど工夫をこらし、入居者間の交流を図りました。

・YRA ミーティング、RA ミーティング：23回、参加者：301

人

実施日	内 容
毎月第3火曜日	YRA ミーティング (11回)
毎月第1火曜日	RA ミーティング (12回)



YRA ミーティングの様子

※ YRA(留学生会)は、入居者が会員になっている親睦組織。

※ RA(レジデントアシスタント)は、日本国籍または日本永住権を持つ外国籍の学生。職員と協力して学生会館の運営にあたる役割を担っています。

・留学生会と学生会館との共催事業：11回、参加者：206人

実施日	内 容
4月21日	オンライン Welcome Meeting (歓迎会)
6月15日～7月7日	七夕短冊飾り (RA と YISH 共催事業)
6月23日～7月16日	てるてる坊主コンテスト (YISH CLUB2021)
7月10日	七夕折り紙プロジェクト (RA と YISH 共催事業)
7月21日	オンライン・クッキングプロジェクト①(RA と YISH 共催事業)
8月18日	オンライン・クッキングプロジェクト②(RA と YISH 共催事業)
9月15日	オンライン・クッキングプロジェクト③(RA と YISH 共催事業)
10月16日	Japanese Saloon (日本語サロン①) (YISH CLUB2021)
11月6日	Japanese Saloon (日本語サロン②) (YISH CLUB2021)
11月20日	Japanese Saloon (日本語サロン③) (YISH CLUB2021)
2022年3月12日	オンライン Farewell Party (送別会)

・留学生自主事業：9回、参加者：150人

実施日	内 容
5月8日	ボードゲームイベント
5月23日	スポーツデー
6月27日	BINGO Party
7月31日	花火大会
8月15日	映画会
9月26日	清水焼の絵付け体験
10月31日	ハロウィンパーティー
11月27日	三溪園へ行こう！
12月26日	クリスマスパーティー
2022年1月21日	書き初め体会 (コロナで中止)



清水焼の絵付け体験



スポーツデーの開催

(4)OBOG 支援

新型コロナウイルスのため「ベアーズのつどい」(OBOG会)は中止しましたが、OBOGはオンラインで開催した「留学生のための就職個別相談会」、「外国人留学生のための就職セミナー」、「先輩留学生に学ぶ日本での就活」に参加して、後輩留学生にアドバイスをしました。

協力した OBOG : 延べ6人

- ・OB による進路相談 10月28日 (Email)
- ・OB との打ち合わせ 2月5日
- ・OBOG との懇親会 3月27日

4 行政施策への協力

12月に県議会議員や汐入小学校教員の訪問を受けた他、元街小学校や下野谷小学校で外国人児童の母語ボランティアとして留学生が協力しました。また、横浜市が YOKE に委託しているの地域日本語教育事業と連携し、YOKE オンラインおしゃべり交流会「ほっとたいむ NIHONGO ではなそう！」(11月)に留学生7名が参加しました。

5 広報事業

(1) 独自媒体を使った広報

ア 『よこはま地球村』の発行

季刊紙『よこはま地球村』を発行しました。

- 発行日：108号（夏号 6月1日）、
109号（秋号 9月1日）、
110号（冬号 12月1日）、
111号（春号 3月1日）
- 体裁：A3 二つ折一色刷
- 発行部数：各号 2,500部



よこはま地球村 110号

イ 『留学生レポート 2021』の発行

12か国の留学生が、コロナ禍の中での留學生活の現状と、母国の感染拡大状況及び政府の対策について書いたレポートを冊子にまとめました。

入居者のほか、国際学生会館登録ボランティアなど関係者に配付しました。



留学生レポート 2021

ウ ホームページ・フェイスブックによる情報発信（日本語・英語）

学生会館の開催するイベント情報や留学生の日常生活の様子を、ホームページやフェイスブックで随時発信しました。

(2) 外部媒体を使った広報

広報よこはま「鶴見区版」、鶴見区民活動センター発行の「あぶりお」、全国紙、地方紙、専門情報紙、ミニコミ紙などあらゆる媒体を使ってイベント参加者や入居者を募集しました。

第6章 イベントカレンダー

(2021年4月1日～2022年3月31日)

2021年4月～6月のイベント・行事

	開催日	事業名
4月	1日(木)～4日(日)	入居期間
	2日(金) ～2022年3月2日	外国人留学生のための就職個別相談
	4日(日)	新入居者オリエンテーション
	6日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	19日(月)～ 6月14日(月)	春期オンライン会話サロン (英語/中国語/ネパール語)
	21日(水)	オンライン Welcome Meeting (歓迎会)
	22日(木)～ 7月30日(金)	鶴見大学附属中学校・高等学校 English Conversation Lounge (1学期)
5月	8日(土)	留学生会自主事業 ボードゲームイベント
	8日(土)～ 7月3日(土)	春期オンライングループ英会話 (土曜・午前・上級/中級)
	11日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	18日(火)～ 7月13日(火)	春期オンライングループ英会話 (火曜・午後・中級)
	19日(水)	留学生会 月例ミーティング (オンライン)
	21日(金)～ 31日(月)	入居者オンライン アンケート
	23日(日)	留学生会自主事業 スポーツデー
	29日(土)	留学生による文化講座 もっと知りたい!～遠くて身近な国 イラン～
6月	1日(火)	2020年度横浜市国際学生会館報告書 発行
	1日(火)	ニュースレター よこはま地球村 108号 発行
	1日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	15日(火)	防災訓練 第1回安否確認メール送受信訓練
	15日(火)～ 7月7日(水)	RAとYISH共催事業 七夕短冊飾り
	16日(水)	留学生会 月例ミーティング (オンライン)
	23日(水)～ 7月16日(金)	YISH CLUB てるてる坊主コンテスト

6月	23日(火)	出前授業 本町小学校
	23日(水) ~ 7月30日(金)	RA アンケート
	24日(木)	第1回潮田交流プラザ秋まつり実行委員会
	25日(金)	出前授業 浜中学校
	27日(日)	外国人留学生のための就職セミナー
	27日(日)	留学生会自主事業 BINGO Party

2021年7月～9月のイベント・行事

7月	6日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	10日(土)	RA と YISH 共催事業 セタ折り紙プロジェクト
	10日(土)	留学生とのオンライン交流会 ミャンマー
	13日(火)	市立みなと総合高校の学生のインタビュー訪問受け入れ
	21日(水)	留学生会 月例ミーティング (オンライン) RA と YISH 共催事業 オンラインクッキングプロジェクト①
	24日(土)	留学生とのオンライン交流会 メキシコ
	30日(金) ~ 9月21日(火)	夏期オンライン会話サロン アラビア語/シンハラ語/スペイン語/フランス語/ ベトナム語
	31日(土)	留学生会自主事業 花火大会
	31日(土)	入居者への支援物資の配給 1回目
8月	3日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	7日(土)	留学生とのオンライン交流会 カメルーン
	15日(日)	留学生会自主事業 映画会 Why don't you stretch? (ストレッチエクササイズ)
	18日(水)	留学生会 月例ミーティング (オンライン) RA と YISH 共催事業 オンラインクッキングプロジェクト②
	21日(土)	防災訓練: 3館合同 RA 対象訓練
	21日(土)	留学生とのオンライン交流会 モンゴル
9月	1日(水)	ニュースレター よこはま地球村 109号 発行
	4日(土)	留学生とのオンライン交流会 マレーシア
	7日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	9日(木) ~ 11月11日(木)	鶴見大学附属中学校・高等学校 English Conversation Lounge (2学期)
	15日(水)	留学生会 月例ミーティング RA と YISH 共催事業 オンラインクッキングプロジェクト③

	26日(日)	留学生会自主事業 清水焼の絵付け体験
2021年10月～12月のイベント・行事		
10月	1日(金)	留学生レポート2021 発行
	2日(土)	留学生による文化講座 馬頭琴の演奏とモンゴルの生活
	3日(日)～ 12月26日(日)	秋期オンライン会話サロン 英語／スペイン語／フランス語(¥)
	5日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	7日(火)	東南アジアの留学生対象の企業インタビューに協力
	7日(火)	入居者への支援物資の配給 2回目
	8日(金)～ 12月3日(金)	秋期オンライングループ英会話(金曜・午後・上級)
	8日(金)～ 12月3日(金)	秋期オンライングループ英会話(金曜・夜・中級)
	9日(土)～ 12月4日(土)	秋期オンライングループ英会話(土曜・午前・上級)
	11日(月)	出前授業 矢向小学校(オンライン)
	16日(土)	YISH CLUB Japanese Salon(日本語サロン)①
	19日(火)	サイエンスフロンティア高校ポスター発表会へ留学生派遣
	20日(水)	留学生会 月例ミーティング
	24日(土)～ 12月26日(土)	秋期オンライン会話サロン(英語)
	30日(土)	つるみ臨海フェスティバル
	31日(日)	留学生会自主事業 ハロウィンパーティ
11月	2日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	6日(土)	YISH CLUB Japanese Salon(日本語サロン)②
	6日(土)	Stock Base インタビュー協力
	11日(木)	出前授業 南中学校(オンライン)
	11日(木)	出前授業 金沢中学校
	12日(金)、14日	日本語チューターボランティア情報交換会
	17日(水)	留学生会 月例ミーティング
	19日(金)	YOKE オンラインおしゃべり交流会 ほっとタイム NIHONGOではなそう! に参加協力
	20日(土)	YISH CLUB Japanese Salon(日本語サロン)③
	21日(日)	防災訓練 地域防災拠点開設訓練@汐入小学校
	27日(土)	留学生会自主事業 三溪園へ行こう!
	27日(土)	入居者への支援物資の配給 3回目

12月	1日(水)	ニュースレター よこはま地球村 110号 発行
	1日(水)	2022年度入居者募集案内配布開始
	6日(月)	出前授業 坂本小学校
	7日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	9日(水)	出前授業並木第一小学校
	10日(木)	出前授業 横浜サイエンスフロンティア高校①
	15日(水)	留学生会 月例ミーティング
	17日(金)	出前授業 横浜サイエンスフロンティア高校②
	22日(水)	入居者への支援物資の配給 4回目
	22日(水)	出前授業 横浜サイエンスフロンティア高校③
	22日(水)	出前授業 中学校・高校
	26日(日)	留学生会自主事業 クリスマスパティー

2022年1月～3月のイベント・行事

1月	4日(月)～ 28日(日)	2022年度入居申請書類受付
	7日(金)～ 3月24日(木)	冬期オンライン会話サロン 英語・韓国語・スペイン語・フランス語・ベトナム語
	11日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	12日(水)	第1回退館者説明会
	13日(木)～ 2月17日(木)	鶴見大学附属中学校・高等学校 English Conversation Lounge (3学期)
	13日(木)	出前授業 横浜サイエンスフロンティア高校④ (オンライン)
	14日(金)～ 2月2日(水)	防災啓発 WEEK
	19日(水)	留学生会月例ミーティング
	19日(水)	防災訓練：第2回安否確認メールの送受信訓練
	19日(水)	出前授業 横浜女学院中学校 (ONLINE)
	21日(金)	入居者への支援物資の配給 5回目
	21日(金)	出前授業 横浜サイエンスフロンティア高校⑤ (オンライン)
	21日(金)～ 27日(木)	RA年度末アンケート
	21日(金)～ 3月18日(金)	冬期オンライングループ英会話 (金曜・午後・中級)

1月	21日(金)～ 3月18日(金)	冬期オンライングループ英会話(金曜・夜・中級)
	21日(金)～ 3月18日(金)	冬期オンライングループ英会話(金曜・夜・上級)
	22日(土)～ 3月5日(土)	冬期オンライングループ英会話(土曜・午前・上級)
	22日(土)～ 3月5日(土)	冬期オンライングループ英会話(土曜・午後・中級)
	22日(土)	3施設合同代表者避難訓練
	28日(金)	出前授業 横浜サイエンスフロンティア高校⑥ (オンライン)
	29日(土)	入居面談(レジデントアシスタント申請者)
2月	1日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	2日(水)	第2回退館者説明会
	3日(金)	2022年度入居審査会
	8日(火)	出前授業 南ヶ丘中学校 (ONLINE)
	11日(金)	入居者への支援物資の配給 6回目
	16日(水)	留学生会 月例ミーティング
	16日(水)	入居者への支援物資の配給 7回目
	18日(金)	出前授業 平戸台小学校 (オンライン)
	19日(土)	共催講座 西安の留学生が語る故郷と、描く短編アニメーション (寺尾地区センター)
	22日(火)	出前授業 南ヶ丘中学校 (オンライン)
	28日(金)	第1回入居契約説明会
3月	1日(火)	ニュースレター よこはま地球村 111号 発行
	1日(火)	第2回入居契約説明会
	1日(火)	レジデントアシスタント 月例ミーティング
	1日(火)	現新RA顔合わせ会
	2日(水)	第3回退館者説明会
	8日(火)	第3回入居契約説明会
	12日(土)	入居者への支援物資の配給 8回目
	12日(土)	YISH Farewell Party (送別会) (オンライン)
	16日(水)	留学生会 月例ミーティング
	27日(日)	OBOGとの懇談会

第7章 2021年度 予算決算書

(単位 千円)

		内 訳	予算額	執行額	備 考
収 入 項 目	指定管理料	人件費	35,705	35,705	
		事業費	2,725	2,725	
		管理運営費	57,135	57,135	
		受託収入	2,200	2,200	インターネット改修費
		小 計	97,765	97,765	
	その他の収入	事業収入	800	265	
		寄付金収入	0	50	
		設備機器利用料収入	3,600	2,766	
		雑収入等	102	108	
		小 計	4,502	3,189	
収 入 合 計			102,267	100,954	

支 出 項 目	人件費	館長、副館長、職員（4人） 非常勤職員（3人） 計9人	35,705	35,470		
	事業費	留学生・市民交流事業費	2,725	2,221		
	管理運営費	運営費（事務費）		6,335	7,014	
		公租公課費		3,200	3,229	
		委託費		33,200	31,738	
			設備管理	11,700	9,449	インターネット改修費
			設備点検	7,000	7,456	
			警備	5,400	5,607	
			清掃	9,100	9,226	
		修繕費		5,000	9,750	
		施設管理者保険料		102	97	
		光熱水費		16,000	13,629	
			電気	9,000	8,092	
			ガス	3,000	2,507	
			上下水道	4,000	3,030	
		経営安定積み立資産取得 及び一般会計繰入		—	—	
	小 計		63,837	65,457		
	支 出 合 計			102,267	103,148	

当期収支差額	0	△ 2,194	
--------	---	---------	--

第8章 留学生統計

1994年5月の会館創立以来27年間に、多くの国・地域の留学生が入居しました。その数は2021年度末で87か国・地域の2,062人に上ります。学生たちは現在、日本国内で、世界各地で、学問、芸術、政治、経済、行政、司法等あらゆる分野で活躍しています。

学生会館 OBOG の出身国・地域別状況 (2022年3月31日現在)

出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数
1 中国	933	30 ブータン	8	59 ルワンダ	2
2 韓国	289	31 スペイン	6	60 アイルランド	1
3 日本	91	32 ブルガリア	6	61 アフガニスタン	1
4 台湾	85	33 香港	6	62 アルゼンチン	1
5 ベトナム	63	34 ラオス	6	63 イエメン	1
6 アメリカ	56	35 ルーマニア	6	64 イスラエル	1
7 ネパール	39	36 ロシア	6	65 ウクライナ	1
8 インドネシア	32	37 イラン	5	66 オマーン	1
9 マレーシア	31	38 ウズベキスタン	5	67 オランダ	1
10 モンゴル	27	39 セネガル	5	68 ガーナ	1
11 スリランカ	26	40 フィンランド	5	69 カザフスタン	1
12 イタリア	23	41 マラウイ	5	70 ガボン	1
13 インド	22	42 オーストラリア	4	71 ギリシア	1
14 タイ	22	43 キルギス	4	72 コロンビア	1
15 バングラデシュ	22	44 ケニア	4	73 コンゴ民主共和国	1
16 ブラジル	20	45 シリア	4	74 シェラレオネ	1
17 カナダ	14	46 チェコ共和国	4	75 ジンバブエ	1
18 ナイジェリア	12	47 ハンガリー	4	76 チュニジア	1
19 オーストリア	11	48 ヨルダン	4	77 チリ	1
20 フィリピン	11	49 タンザニア	3	78 トルクメニスタン	1
21 ミャンマー	11	50 トルコ	3	79 パナマ	1
22 イギリス	10	51 南アフリカ	3	80 パラグアイ	1
23 エジプト	10	52 メキシコ	3	81 ベルギー	1
24 ドイツ	9	53 ウガンダ	2	82 ボスニアヘルツェゴビナ	1
25 パキスタン	9	54 クロアチア	2	83 ボツワナ	1
26 フランス	9	55 ノルウェイ	2	84 南スーダン	1
27 カンボジア	8	56 ポーランド	2	85 モルドバ	1
28 エチオピア	8	57 マダガスカル	2	86 ラトビア	1
29 カメルーン	8	58 ユーゴスラビア	2	87 リベリア	1

合計 2062人

全国の状況 (2021年5月1日現在)

- ・留学生数の推移 (独立行政法人日本学生支援機構資料による)

2018年	2019年	2020年	2021年
298,980人	312,214人	279,597人	242,444人

※2011年度から国の統計には、日本語教育機関に在籍する留学生数も含まれるようになりました。

- ・出身国・地域別留学生数

国・地域	留学生数 ()内は2020年度	構成比 ()内は2020年度
1 中国	114,255人 (121,845人)	47.1% (43.6%)
2 ベトナム	49,469人 (62,233人)	20.4% (22.3%)
3 ネパール	18,825人 (24,002人)	7.8% (8.6%)
4 韓国	14,247人 (15,785人)	5.9% (5.6%)
5 インドネシア	5,792人 (6,199人)	2.4% (2.2%)

※2020年を目途に30万人の留学生受け入れを目指した「留学生30万人計画」は、2年前倒しで達成されています。

Memo



A series of horizontal dashed lines for writing.

